

審美領域のインプラント治療

— Root Membrane Technique を応用した

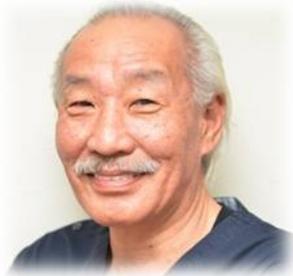
1 歩先のインプラント治療を考える—

講師

はやし よしはる

林 揚春 先生

(東京都新宿区 開業)



— 講演抄録 —

インプラントの埋入時期は、抜歯即時埋入、早期埋入、遅延埋入に分類されている。それぞれの埋入時期において審美性を得るためには、結合組織移植、GBR、骨移植などの処置をしなければならないと考えている術者が多い。果たしてそのような処置が必要なのか？ 審美性を得るためのそれらの処置は、患者に与える疼痛および腫脹、安静期間中の QOL の低下、長期の治療期間、外科処置回数の増加などの問題点が挙げられる。患者の日常生活を考えれば、このような症例に対して、疼痛および腫脹の軽減を配慮した1回の外科処置と即時プロビジョナルレストレーションの装着は、安静期間中の QOL の向上が得られ、患者にとって大きな福音となる。今回は、審美領域の抜歯即時埋入処置を中心に、唇側歯槽突起を維持するための Root Membrane Technique および 各埋入時期における対処、多数歯欠損症例などの症例を供覧し I.C.I の先生方と知識を共有できれば幸いである。

ご挨拶

上顎前歯部症例では審美において歯槽骨(唇側歯槽突起)の維持が大切でありインプラントと相互補完が求められる。つまり、歯槽骨吸収のコントロールを実践することが重要で審美領域の抜歯即時埋入インプラント治療は今後我々に求められることになる。そこで今回 I.C.I では抜歯即時埋入の第一人者である林 揚春先生を招聘しました。私が国際学会で拝聴したルートメンブレンテクニックは今後の審美治療にはかかせないオプションであると確信しました。インプラント治療を始めた若い先生はもちろん、審美治療を極めたいベテランまで「目から鱗の」講演会にぜひご出席をお待ちしております。

また I.C.I 年次総会を平成 30 年 4 月 1 日の 9 時 15 分から開催します。I.C.I インプラント適塾(毎月開催・全12回コース)の年間スケジュールを発表しますので会員におかれましては、ぜひご出席を御願い致します。

===== Ishikawa Academic Research Society of Clinical Implantology 会長 室木俊美 =====

～ 林 揚春 先生 ご略歴 ～

- 日本大学松戸歯学部 卒業
- 医療法人社団 秀飛会 優ビル歯科医院 院長
- 日本顎咬合学会 指導医
- ICOI 指導医
- 日本大学客員教授

●I.C.I 総会：平成30年 4月 1日 (日) 午前9時15分 ～ 9時45分

●講演会： 午前10時 ～ 午後15時

●会 場： 石川県地場産業振興センター本館 (☎076-268-2010) 第2研修室

●会 費： I.C.I 会員 4,000円 非会員 8,000円 コデンタルスタッフ 3,000円

※石川臨床インプラント学術研究会 総会・講演 参加申込書※

(〒920-0027) 金沢市駅西新町3-9-32 TEL:076-224-1222

喜多歯科医院

FAX: 076-224-1213

申込みコース名	受講料	扱い(総会)
I.C.I 2018年4月1日		

(日歯生涯研修カードをご持参下さい。)

申し込みは、切り取らずこの用紙のまま FAX をお願いします

御氏名	ローマ字 (大文字)		出身校	
	漢字		卒業年度	年
貴 医 院 名	名 称		TEL	- -
			FAX	- -
	住 所	(〒 -)		

コース名・I.C.I 総会講演会 (単回)